

第25回高専プロコンの提言書

弓削商船高等専門学校 肥田 琢弥

1. まえがき

第25回高専プロコンをもとに、これからの高専プロコンの発展と高専生全体の能力をあげることにについて提案する。主に、プロコンホームページのデザインの改善、ブースの設営の改善、開発チームの支援、他高専と共同開発、個人作品の展示、プロコン作品の動画を永続的に公開、高専生を対象とした講座を提案する。

2. ホームページの改善

高専プロコンのホームページが読み難く、目的の情報を探するのが難しいことから、以下の問題があげられる。

- ・ 文字のフォントが小さい
フォントサイズを大きくすることで読みやすくなる。
- ・ 英語版のページが文字化けしている
海外チームもホームページをみるため、エンコードを統一する。
- ・ スマホ・タブレット用のページがない
スマホ・タブレットの使用頻度がPCより高いため、用意する。
- ・ カレンダーなどの不要項目がある
使わない項目を消すことで重要項目が目立って、情報が探しやすい。

よって、一からホームページの構成を見直すことを考えるべきである。

3. ブース設営の改善

ブース設営時に大型器材の組み立てで広いスペースが必要になり、隣接するブースに迷惑をかけることがある。そこで、ブース会場の近くに大型器材を組み立てる場所を設けて、組み立てを行わせる。あとは、完成品をブース会場に運ぶだけである。

4. 開発チームの支援

プロジェクト管理や開発上で行き詰まった場合、現役のSE、プログラマからアドバイスがもらえるようにする。例えば、SE・プログラマにSkypeのテレビ電話・チャットを用いて、作業進捗の公開や問題に対してのアドバイスをもらう。また、開発途中の作品を会社に持っていき、意見をいただく。よって、高専生の教育や作品の質の向上、SE・プログラマが所属する会社と高専とのつながりを持つようになる。

5. 他高専と共同開発

チーム内での開発が技術的、人数上の問題などの理由で開発が不可能な場合や、開発する作品の完成度の向上を求めるために、他高専との共同開発ができるようにする。この共同開発で培う経験から高専生の技術や問題を解決する力の底上げにつながる。

6. 個人作品の展示

プロコンの部門に関係ない、高専生が個人・チームの作品を展示するブースを用意する。予選で落ちたチームや個人が持っている技術を披露することで、高専生の見聞を広めることができ、翌年のプロコンに活かすことができる。また、高専生が自分の能力を会社にアピールすることにつながる。

7. 作品の動画公開

Ustream に課題部門・自由部門のデモンストレーションをリアルタイムに放送するだけでなく、いつでも見ることができるよう YouTube などに公開する。また、動画の内容は、DigInfo のようにわかりやすくする。作品の内容を動画で残すことで、他高専が持っている問題に対する考えや技術を学ぶことができる。また、高専生の技術を多くの人に知ってもらうことで、高専生を会社にアピールする効果が得られる。

8. 高専生を対象とした講座

高専生の全体の能力底上げを目的とした講座を、テレビ電話を用いて行う。時期は時間がとりやすい夏休みに、高専生・高専の先生・会社の人などに講師をしてもらい、受講者である高専生に技術やプロジェクト管理などを学んでもらう。とくに、高専プロコンに落選したチームに参加を促し互いに教え合うことによって、落選したチームのモチベーションをあげることにつながり、長期的なイベントの維持が期待される。

9. 最後に

今年度の高専プロコンは実に充実したものでした。今回提案したものが、高専プロコンの発展と高専生の育成に尽力される方々の参考になればと思います。また、さらに改善された第26回高専プロコンに参加できることを楽しみにしています。

参考文献

【連絡先】 〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 弓削商船高等専門学校 情報工学科
肥田琢弥

【キーワード】 高専プロコン改善案, 高専生の育成, 高専の社会的認知

- 1) 高専プロコン公式サイト :
<http://www.procon.gr.jp/>
- 2) Ustream サイト :
<http://www.ustream.tv/>
- 3) DigInfo 公式サイト :
<http://jp.diginfo.tv/>